

フォトショップ アクションスクリプトを習得しましょう。

大量の画像の加工があつという間にできるようになります。

「考え方」

繰り返しの同じ作業のプログラムを記録させて、開いたファイルなどに、そのプログラムを流します。

「作業の流れ」

ステップ-1

- 1- アクションスクリプトのフォルダー「セット」を作ります。
- 2- アクションスクリプトのファイルを作り、録画ボタン【●】を押します
- 3- アクションを行います
- 4- アクションを停止ボタンを押し停止します

ステップ-2

- 1-録画したアクションを、他のファイルに適用します。

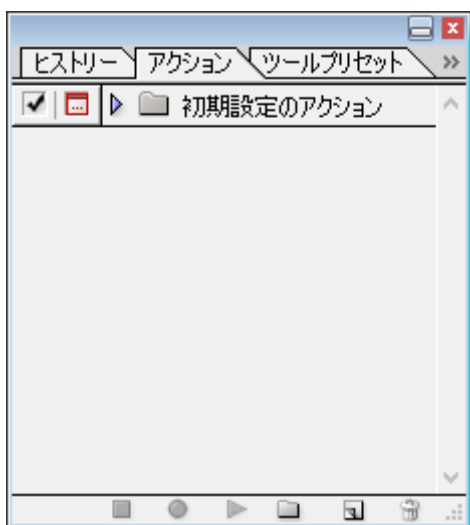
練習 1

練習 1 フォルダを開きます。

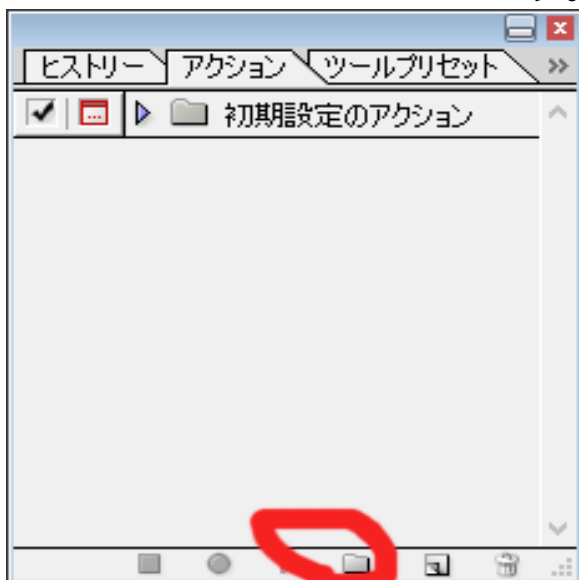
ミッション- 横向きの画像を立て向きにします。

【手順】

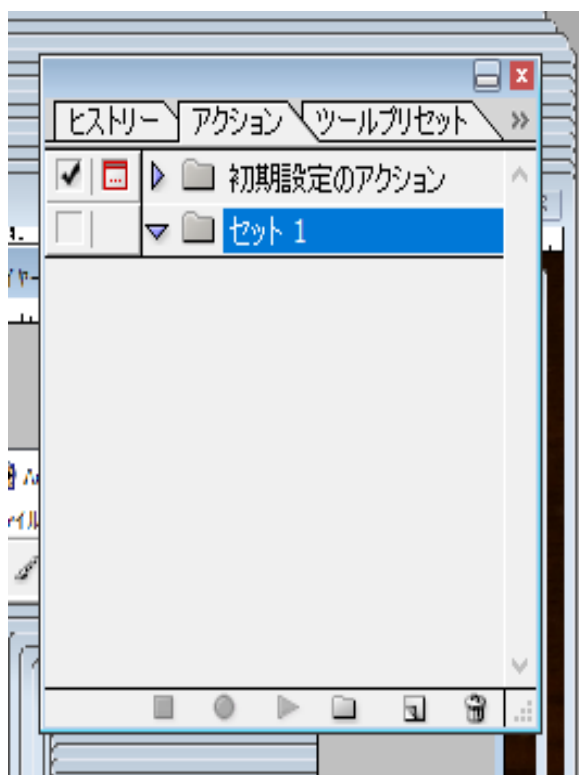
- 1-フォトショップを立ち上げて、
- 2-練習用画像-1 フォルダの画像をすべて選択して開きます。
- 3-「ウインドウ」タグの、「アクションスクリプト」を選択して、ダイアログボックスを表示します。



4-フォルダーをクリックします。

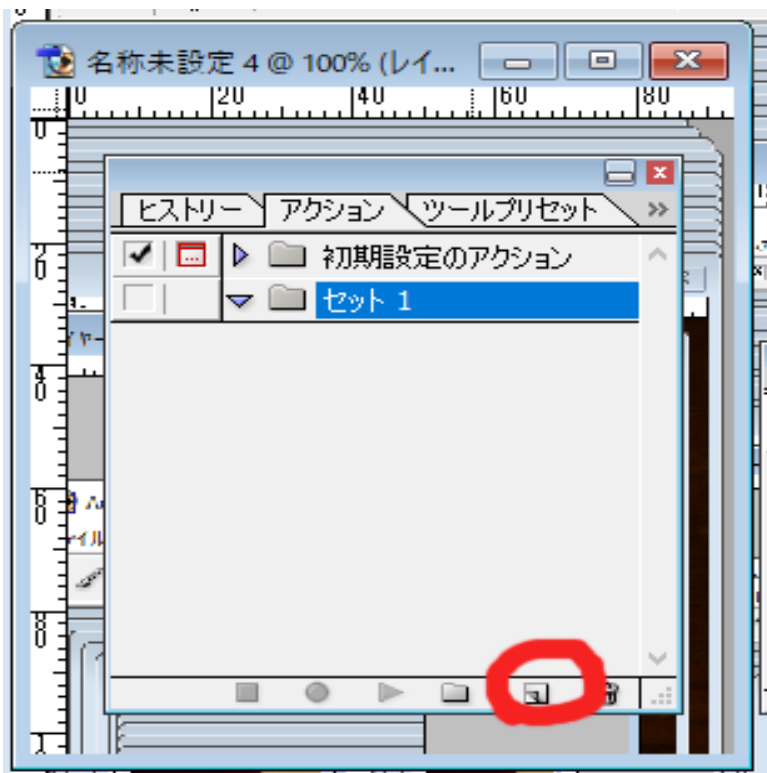


5- セット 1 が作成されます。

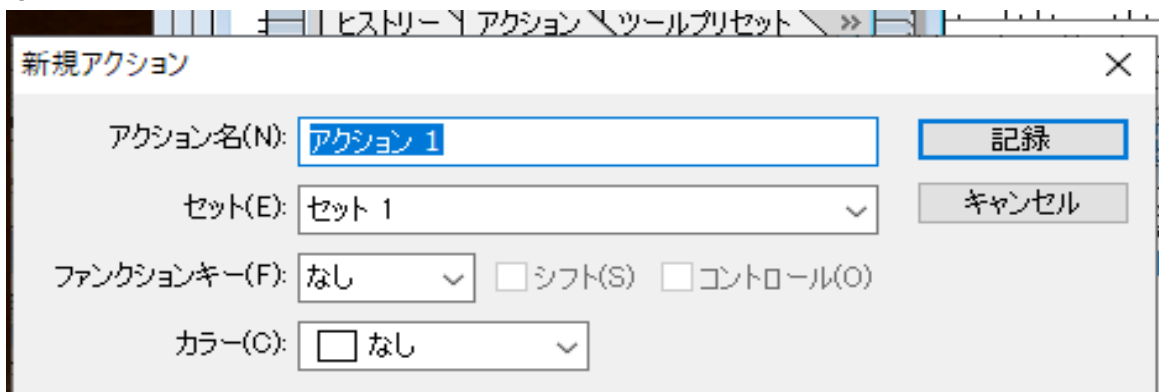


セット-1 フォルダーが作成されます。

6- 次に、フォルダーマークの横の、新規アクション作成ボタンを押します。



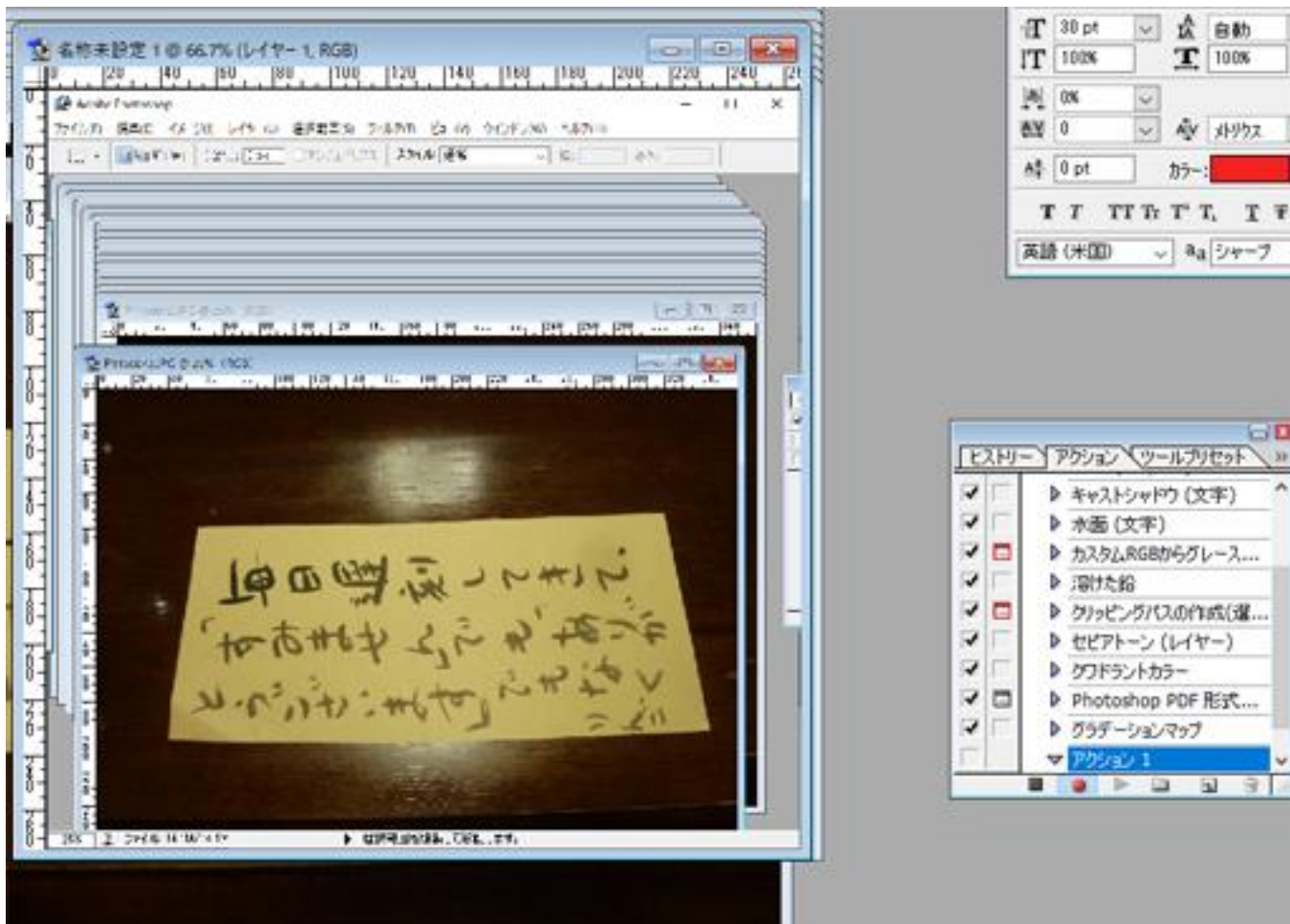
7-



新規アクションのウィンドーが開きますので、【記録】を押します。

8-

【記録】を押すと、ウィンドーは消えて、



アクションには赤丸【●】がついて、録画の状態になります。

これから、作業を録画していきます。
まず、画像を縦長に修正してみます。

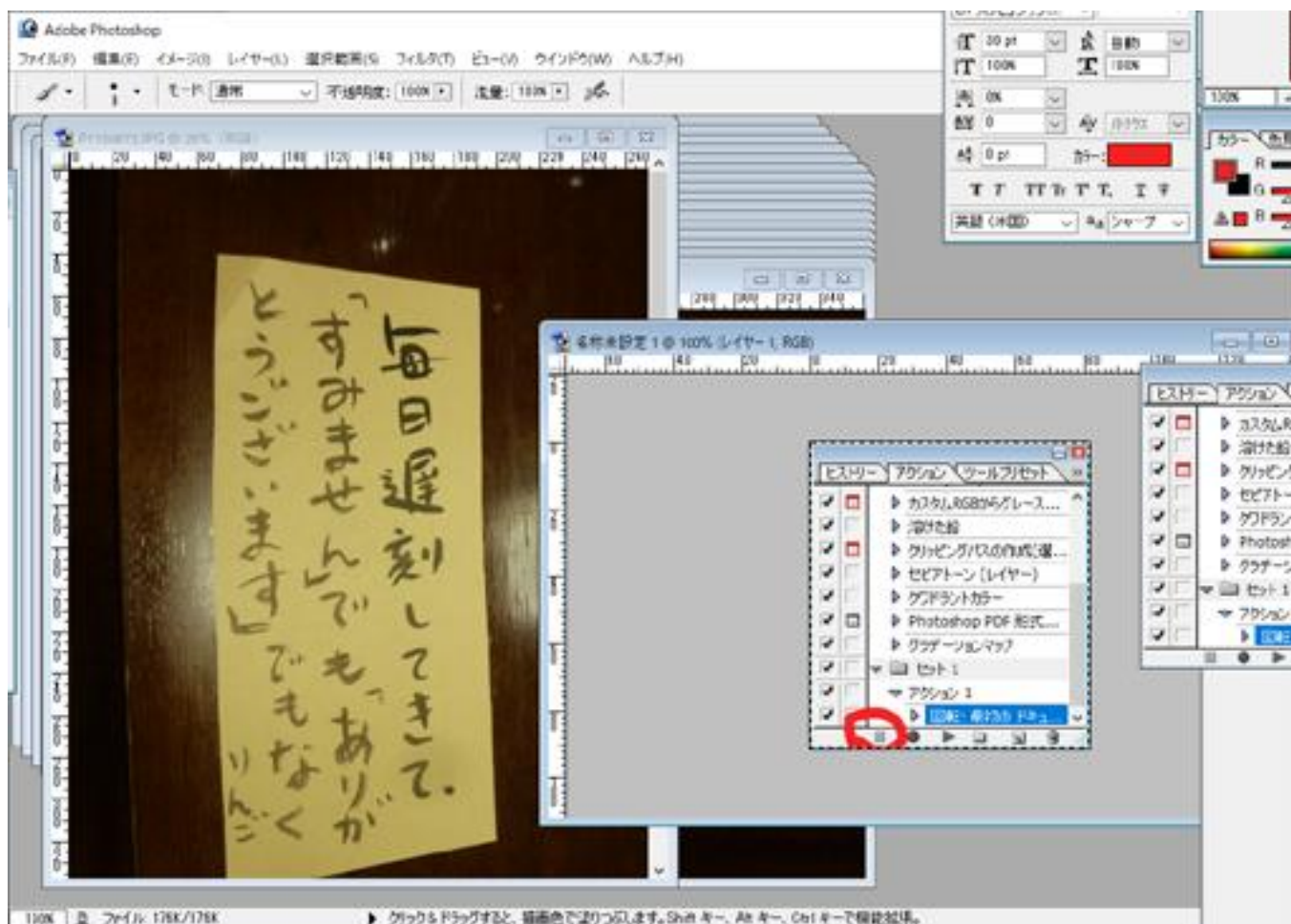
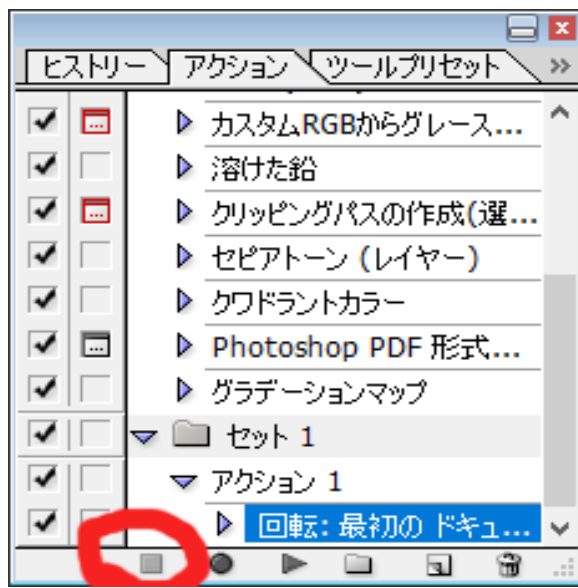
この、赤丸の状態で、

○ イメージ



○ キャンバスの回転 → 右 90 度を押し、画像を回転。

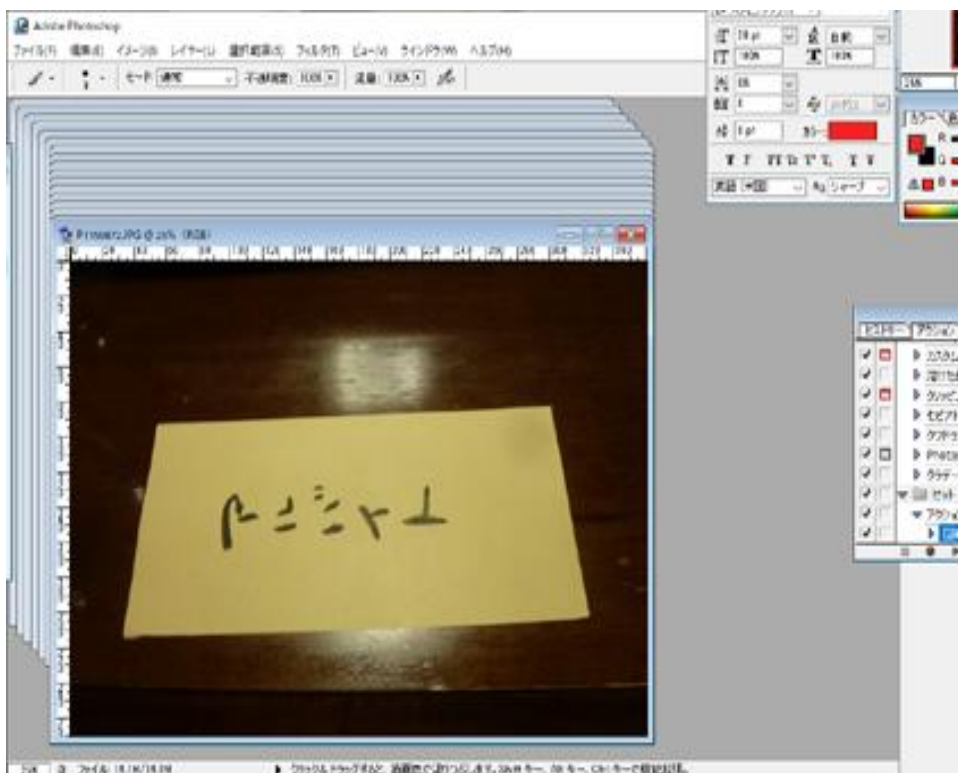
○ アクションの左下の【■】のボタンを押して、アクションを終了します。



アクションの記録はこれで完了です。

次に、このアクション プログラムを流して、他のファイルにも適用させます。

9-今、回転したファイルは、上書き保存して閉じます。



今、練習用の画像が、これだけ残っています。

10- ファイル → 自動処理 → バッチ →



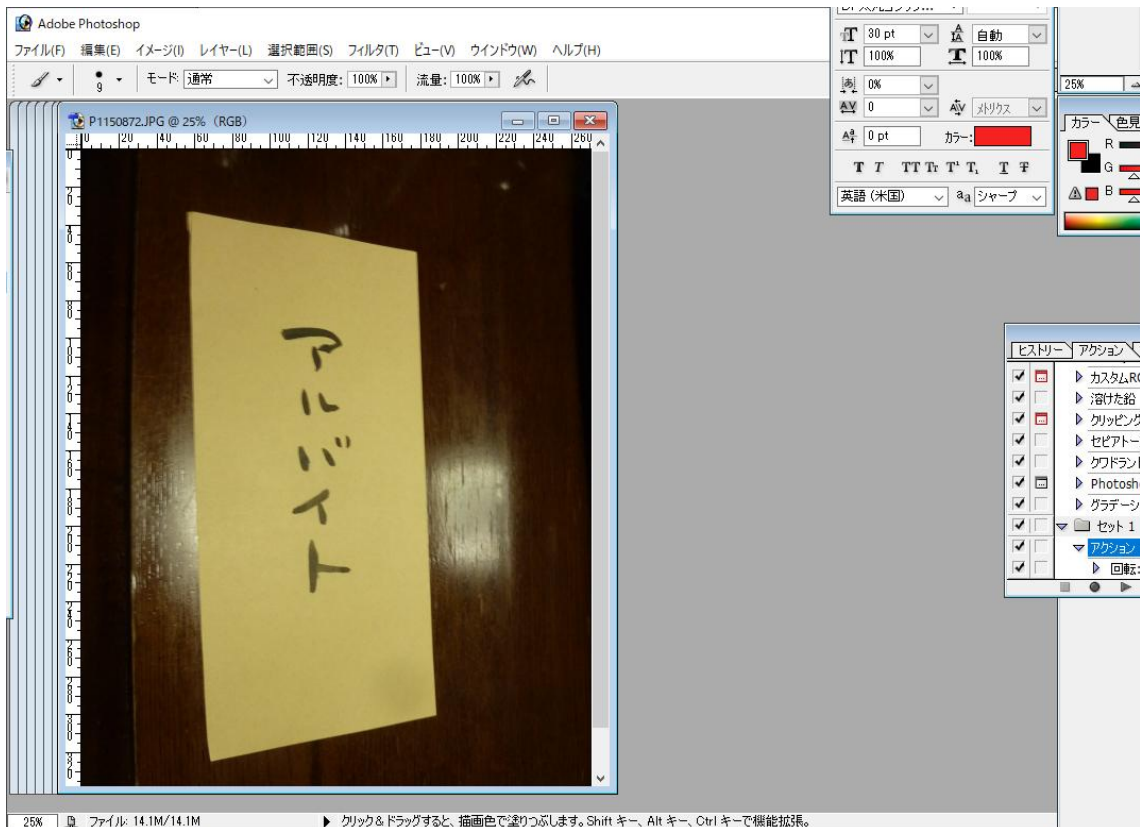
こういう画像がでできます。

これは、先ほど作った アクションフォルダー セット 1
アクション 1

を開いたファイルに適用します。

という指示です。

【OK】ボタンを押すと、プログラムが流れます。



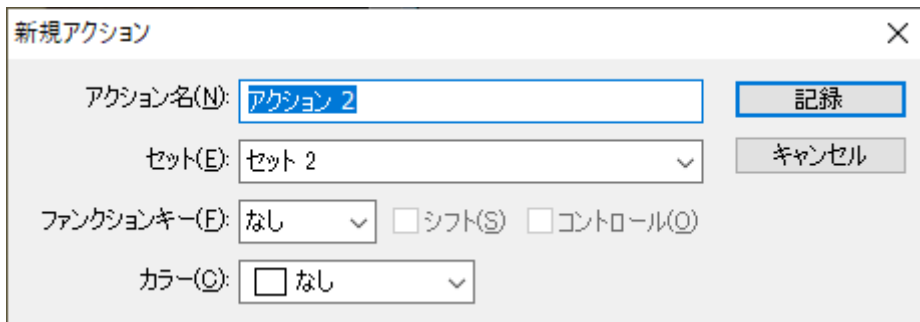
そうすると、自動的に縦長になり、作業が完了するとプログラムは自動的に止まります。

練習-2

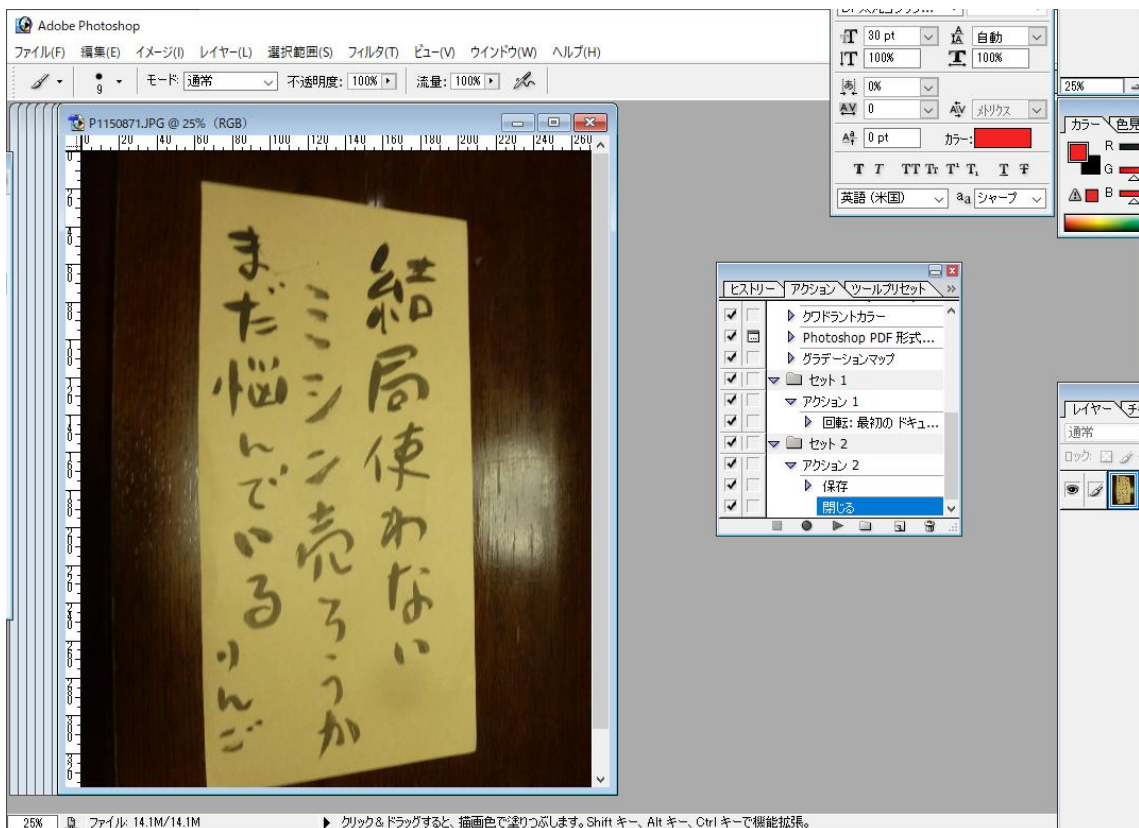
今度は、アクションを利用して、このファイルを自動的に保存します。

11- アクション 2 を作成します。

アクションスクリプトの、フォルダーボタンを押すと、セット 2 が作られ、
新規アクションを押すと、アクション 2 が作られます。



記録ボタンを押して、ファイルを自動的に保存して、閉じるアクションを作ります。



記録ボタン



名前をつけて保存



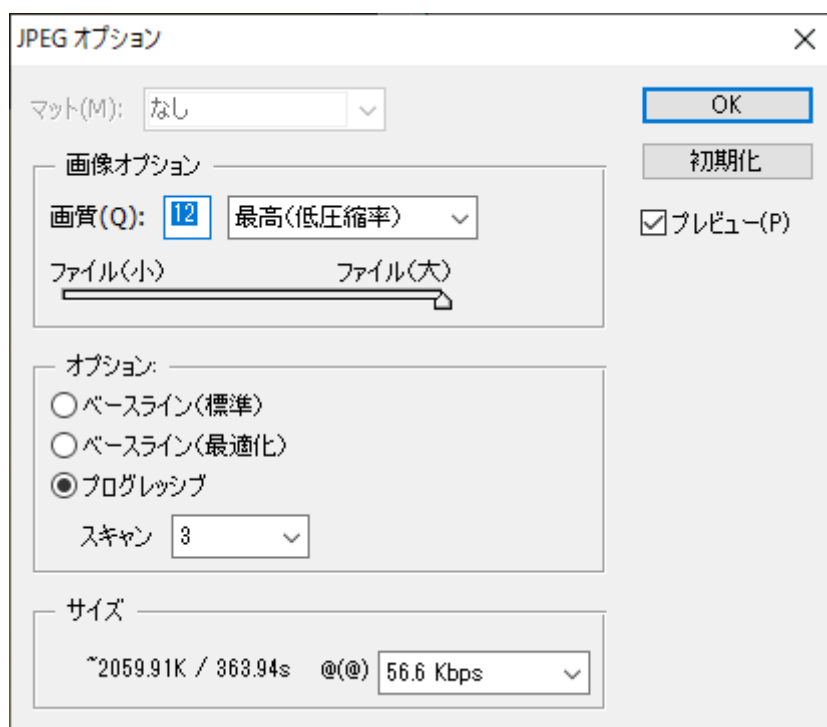
保存フォルダーを指定



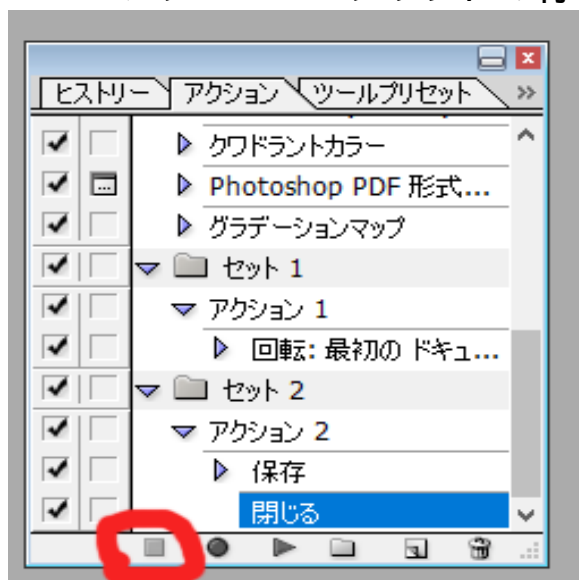
jpegオプション OKボタンを押す



保存したら、ファイルを閉じるボタンを押します。



アクションスクリプトの停止ボタン ■ を押します。



アクションの記録が完成しました。

次に、アクション プログラムを流します。

ファイル → 自動処理 → バッチを開きます。

もし、このような画面が出た場合には、セット アクションをそれぞれ、作業するフォルダー・アクションを右の下↓をクリックして、選択します。(下の図)

The image shows a 'Batch' dialog box with the following fields and options:

- 実行 (Execute):**
 - セット(D): 初期設定のアクション (Set: Default Action) - circled in red
 - アクション(A): ビネット (選択範囲) (Action: Thumbnail (Selection)) - circled in red
- ソース(O):** 開いたファイル (Source: Opened Files)
- 実行後(D):** なし (After Execution: None)
- 選択(H)...** (Select...)
- “別名で保存” コマンドを省略(V) (“Save with Name” Command Omission)
- ファイルの名前 (File Name):**
 - 例: MyFile.gif
 - ドキュメントの名前 (Document Name) + 拡張子(小文字) (Extension (Lowercase)) +
 - [] + [] +
 - [] + [] +
- 互換性 (Compatibility):** Windows(W) Mac OS 9(M) Unix(U)
- エラー(E):** エラー発生時に中止 (Error: Stop on Error Occurrence)
- 別名で保存(S)...** (Save with Name...)

Buttons on the right: OK (highlighted with a blue border), 初期化 (Reset).

バッチ

実行

セット(T): セット 2

アクション(A): アクション 2

ソース(O): 開いたファイル

実行後(D): なし

選択(H)...

“別名で保存” コマンドを省略(V)

ファイルの名前

例: MyFile.gif

ドキュメントの名前 + 拡張子(小文字) +

互換性: Windows(W) Mac OS 9(M) Unix(U)

エラー(E): エラー発生時に中止

別名で保存(S)...

OK

初期化

セット 2

アクション 2 を選択して、
ソース は「開いたファイル」に設定します。

【OK】を押すと、自動的に 保存と閉じるを繰り返して、すべての作業が終了すると、スクリプトも停止します。
これで練習は終わりです。

次に、本番の作業を行います。

必ず、画像は、アクションスクリプト用の画像を、新しく別にコピーして準備してください。失敗するとともに戻せません。

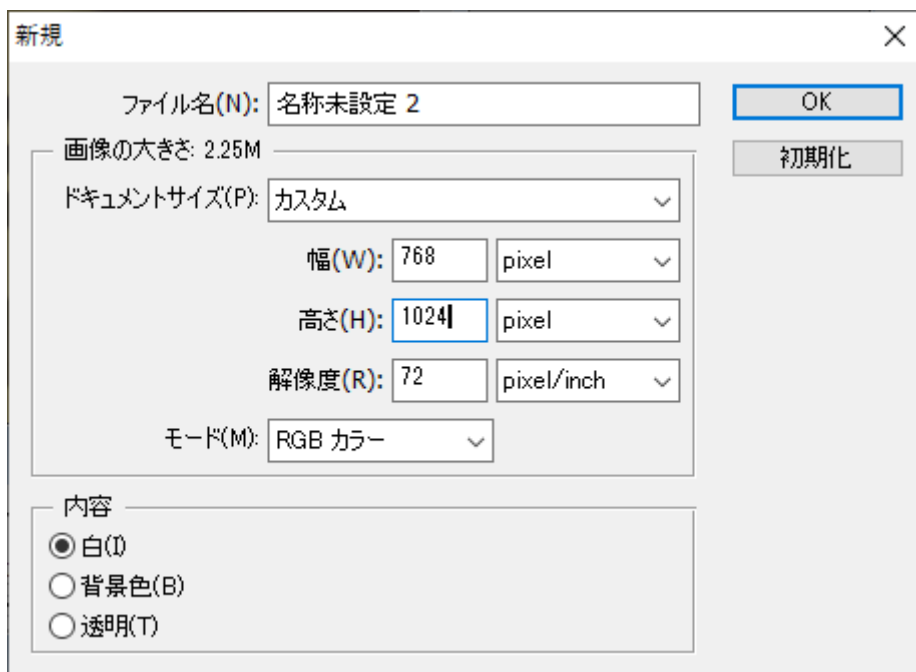
.....
まず、準備するものは、hpに掲載する画像と、それを格納したフォルダーです。

画像が準備できたら、その画像に、サイズを統一するための、台紙を貼り付けてゆきます。

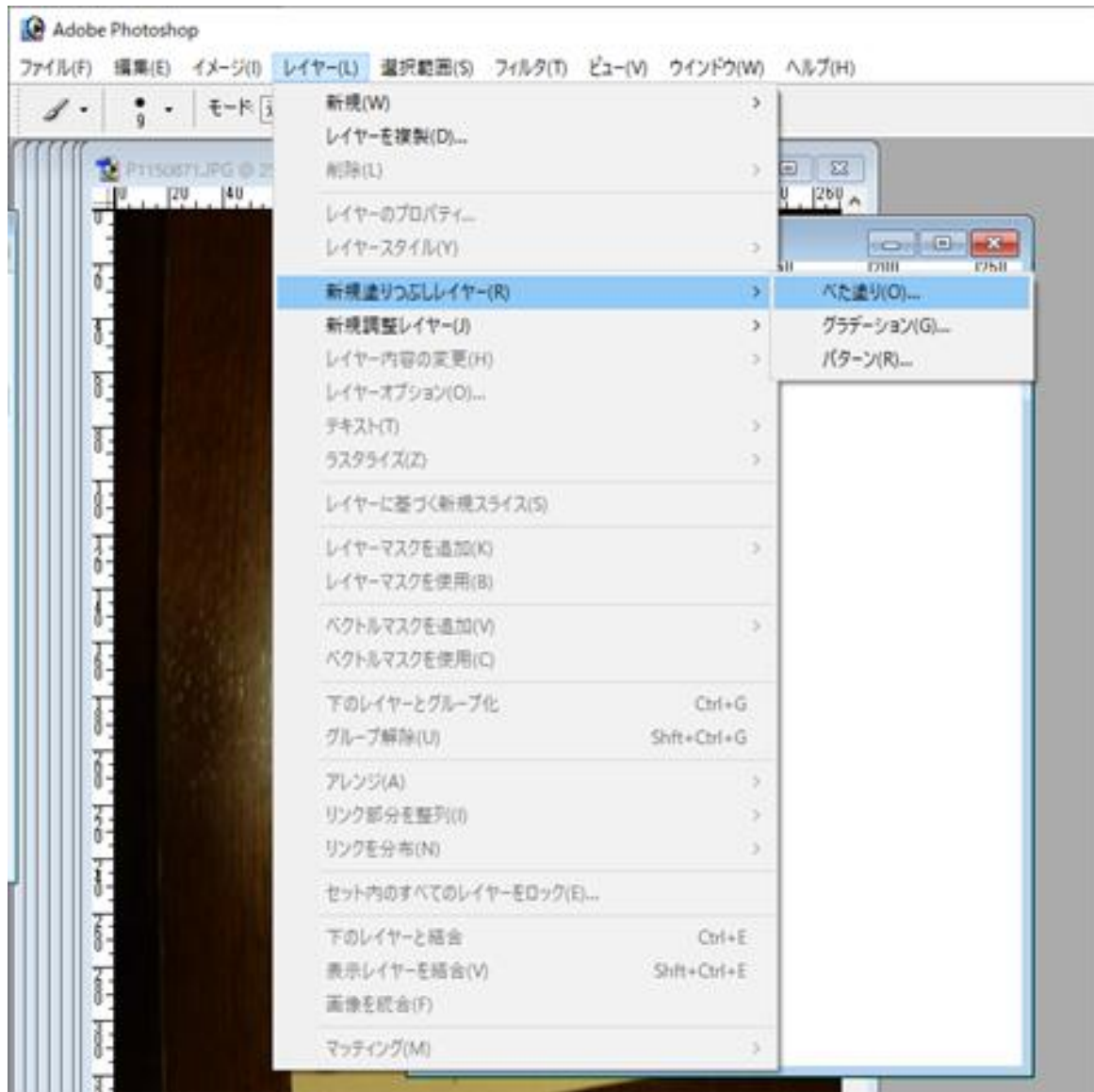
手順

まず、台紙を作ります。

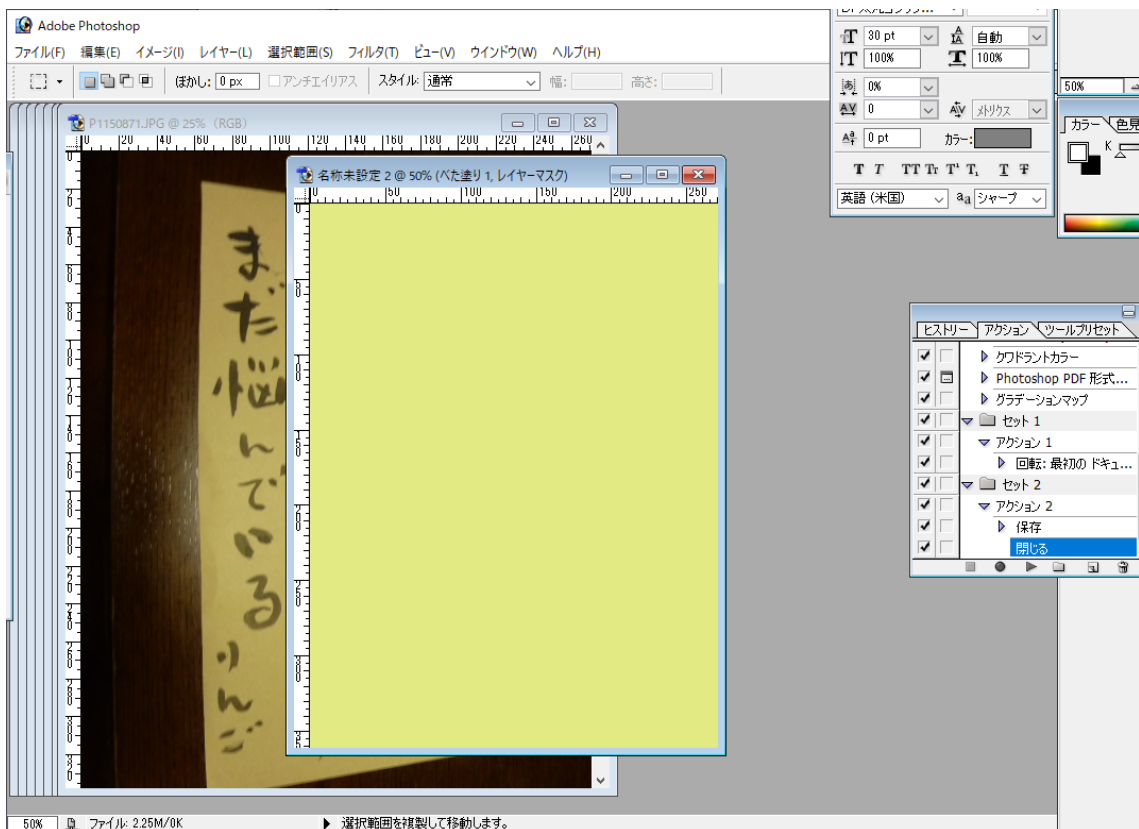
1-新規ファイル作成 → 幅 768 高さ 1024 解像度 72
RGBカラーで、【OK】を押します。



2-



レイヤー → 新規塗りつぶしレイヤー → ベタ塗り
を選択して、白で塗りつぶします。(何色でも可)



練習なので、わかりやすいように、黄色く色を付けています。

3-

これを、選択範囲 → 全てを選択して、
編集 → コピーを押して、クリップボードに保管して、このファイルは閉じておきます。

*アクションスクリプトの記録は、この、台紙のファイルをクリップボードに保管した状態でスタートすると、効率がいいです。

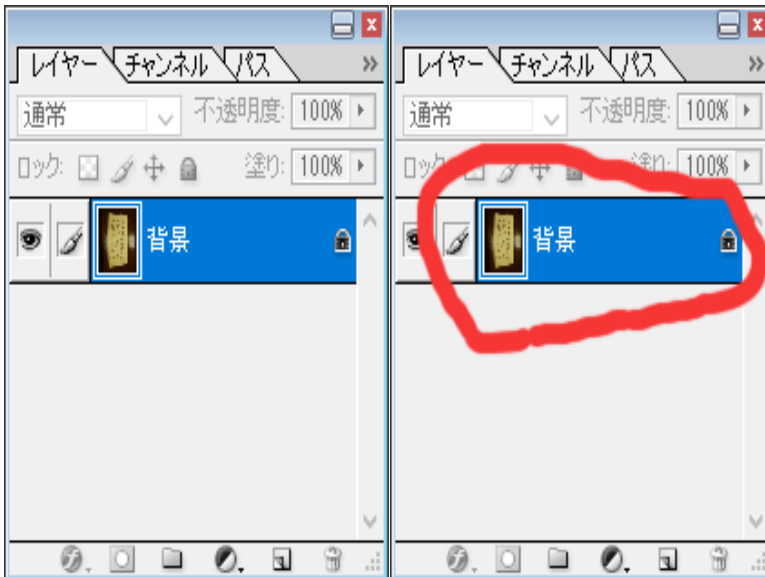
5- まず、作業するファイルを1つ開きます。

6- それから、アクションスクリプトで、セット3を作成して、アクション 作成のボタンを押します。

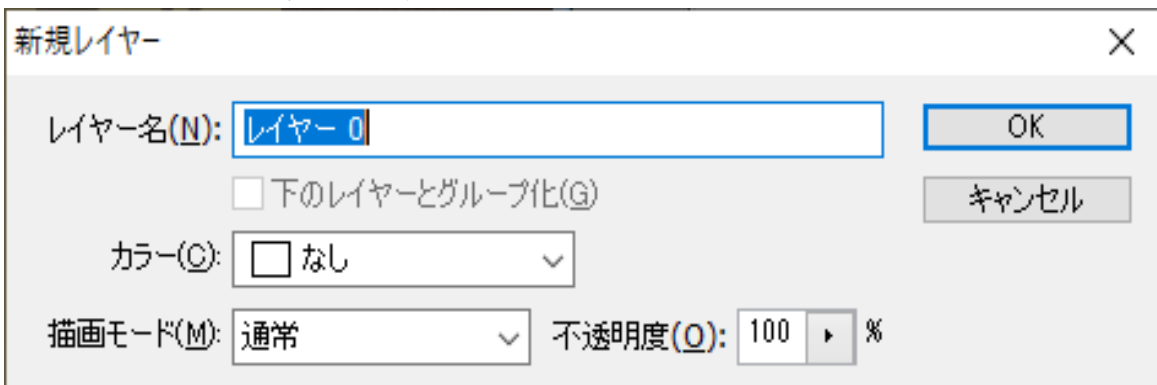
7- 記録ボタン「●」を押し、記録を開始します。

8- レイヤーのウィンドーで、まず、「背景」をダブルクリックし

て、「レイヤー0」に変更し【OK】。



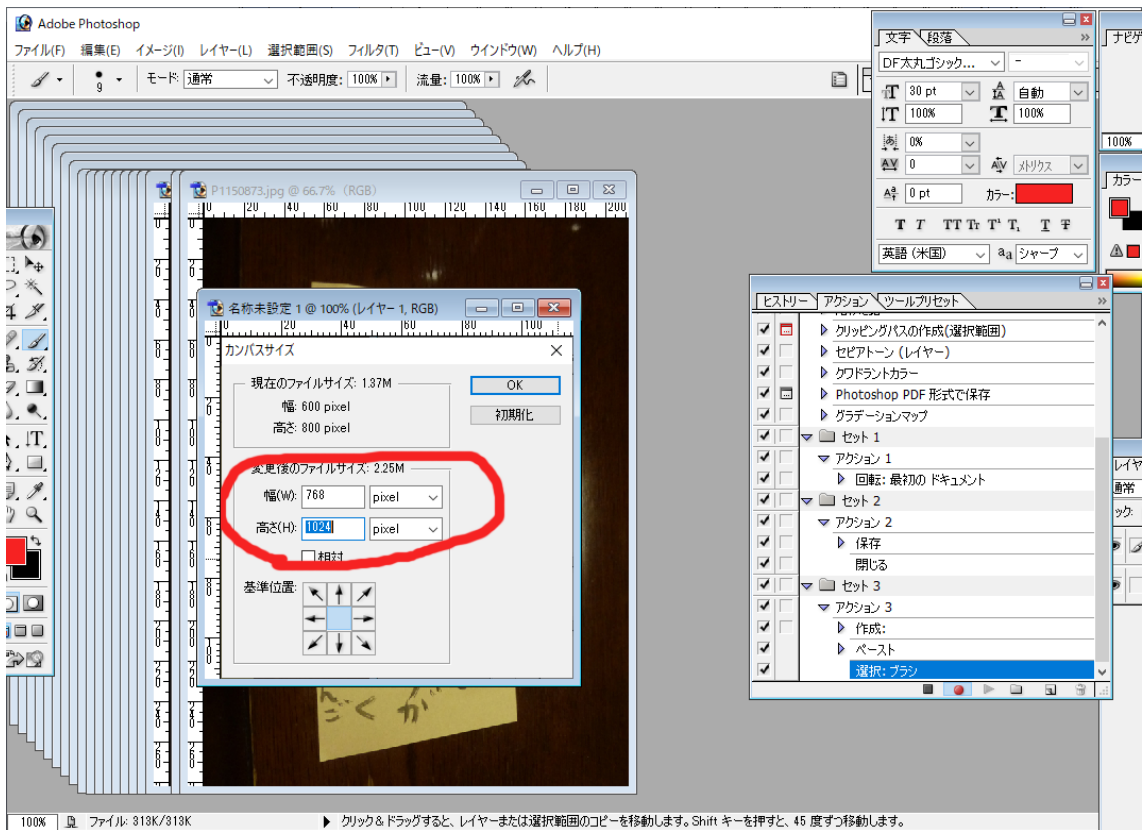
ダブルクリックすると、



このような画面が出てきますので、OKを押します。

9- 次に、イメージ → キャンバスサイズで、キャンバスのサイズを、

w768 ピクセル h1024 ピクセル
に設定してOKを押します。



P1150870.jpg @ 50% (レイヤー 0, RGB)

0 50 100 150 200 250 300

0 50 100 150 200 250 300

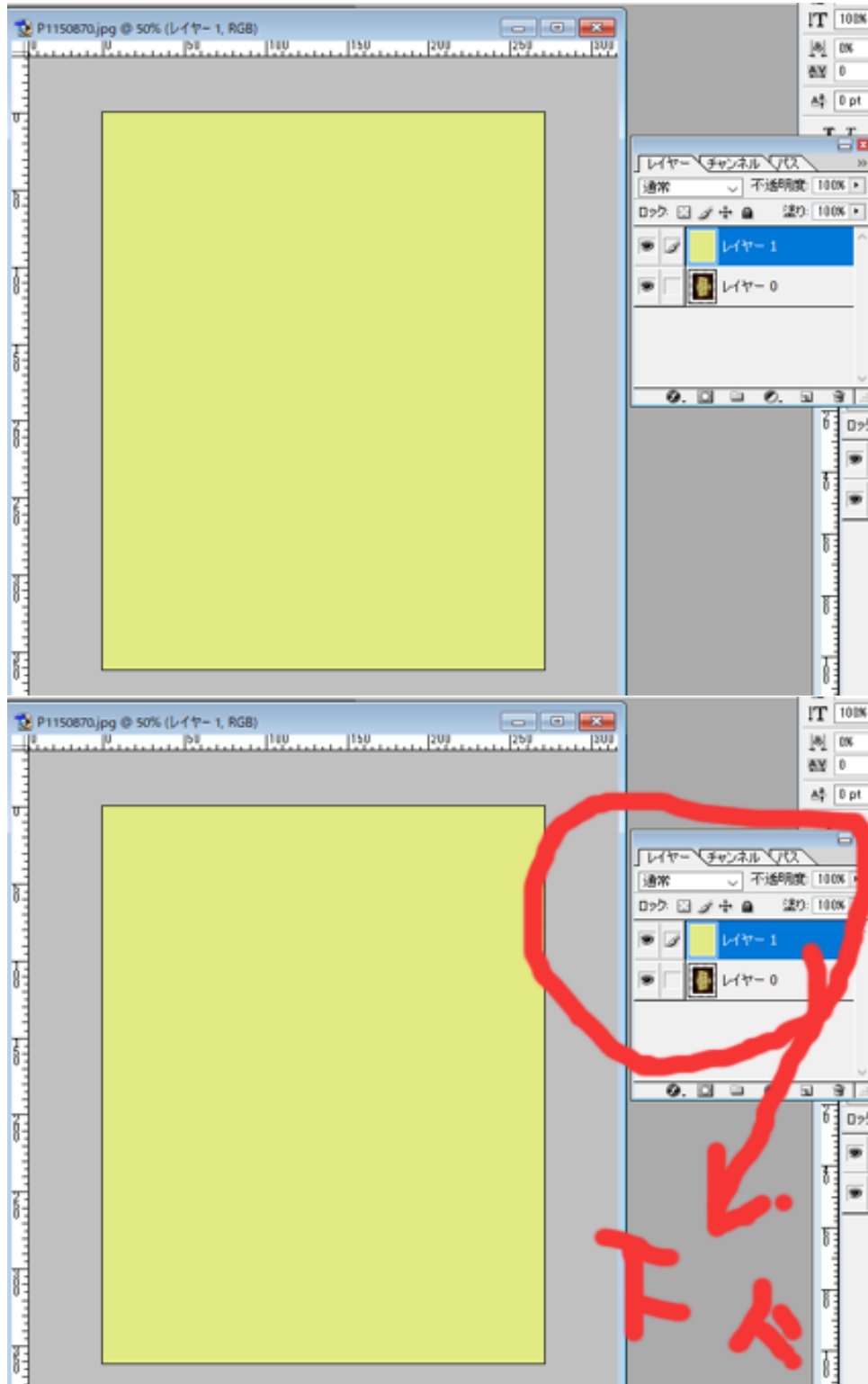


ハリタケの母のチー
ホテルのレストラン
みちでつまらん
リン

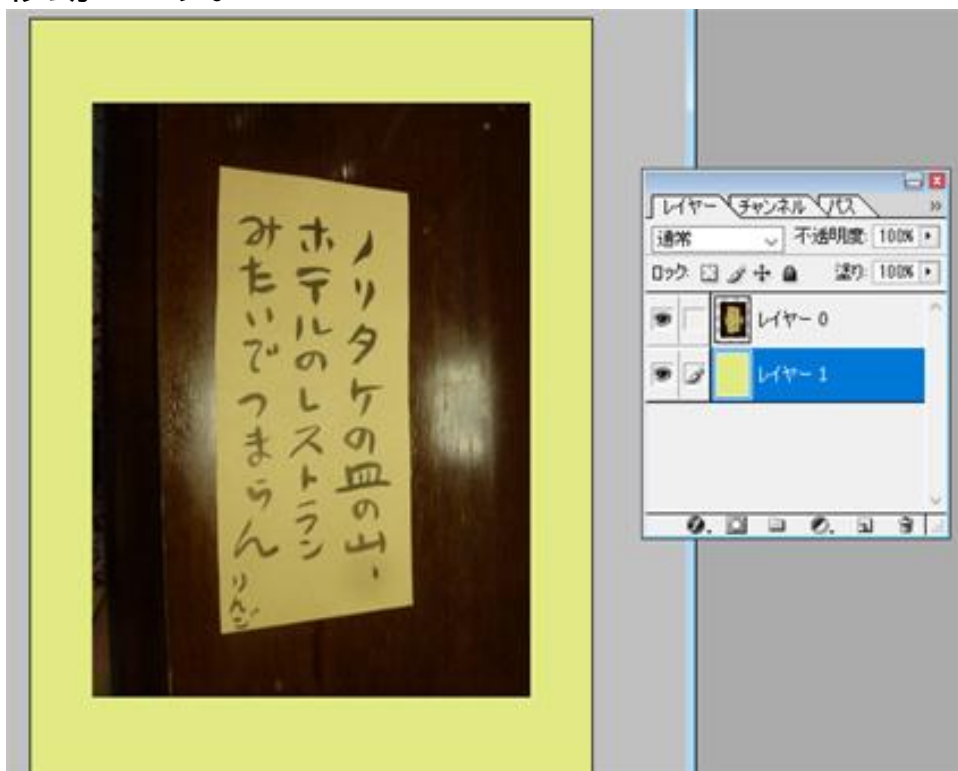
10-

クリップボードに張り付けてある、

ファイル → 貼り付けを押して、画像に台紙を貼り付けます。



黄色い台紙は、レイヤーの上に貼られてしまっていますので、レイヤー1 を押しながら下にスラッグして、レイヤー0 の下に移動します。



こんな感じで、真ん中に画像が来ます。

12- 【レイヤー】 → 【画像を統合】します

13- 保存します。

14- 【×】を押して、画像を閉じます。

15- アクションスクリプトの停止ボタン【■】を押します。

これで、作業プログラムの記録が完了しました。

次に、このプログラムを使って、他の画像を一括して、これと同じサイズに変更してゆきます。

16- ファイル → サイズを変更したい画像をすべて選択して、フォトショップで開きます。

17- ファイル → 自動処理 → バッチを押します。

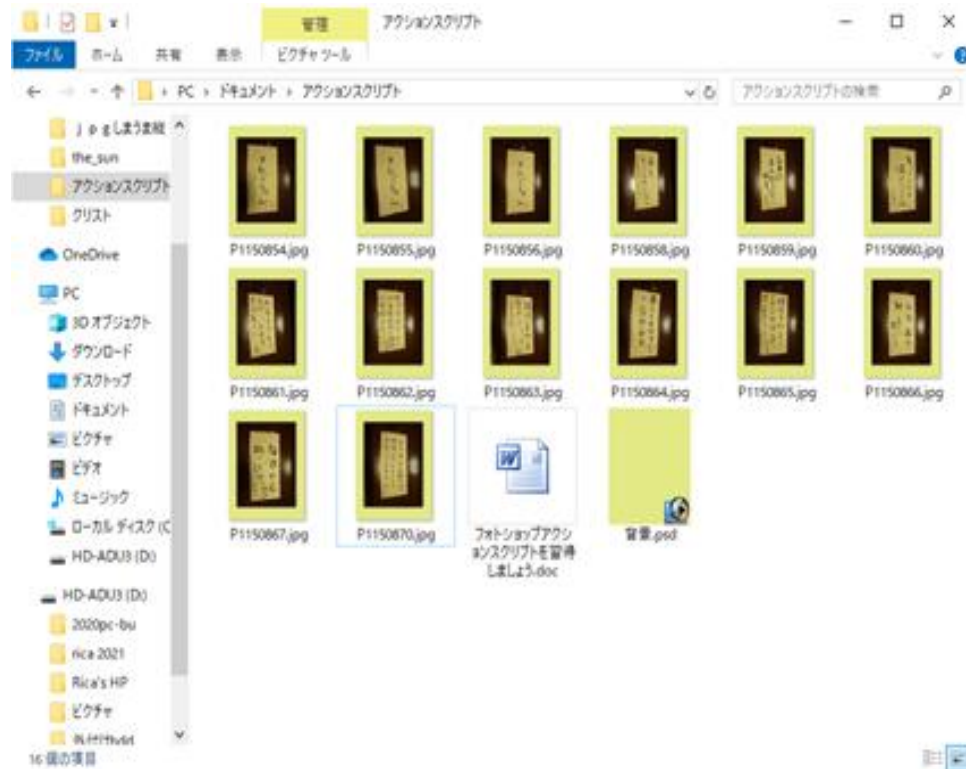
18- セット 3

アクション 3

開いたファイル

に設定して、

【OK】を押すと、プログラムが走り、今まで記録した内容で、ファイルがウ若書きされます。



こんな感じで完成です。

基本的な考え方がわかれば、さまざまなプログラムを作り、作業の自動化・効率化が図れますので、頑張ってください。